

巻末
Column

地元の人から聞いた 西区の“へ～!”ってお話



長年西区に住む地元の方が伝え聞いたという話など、思わず「へ～!知らなかった!」と
言ってしまうような西区のお話を紹介します。西区がもっともっと好きになるかも。

後期旧石器時代前半の石器が発掘された

区画整理事業に基づく発掘調査が行われた結果、西区役所
近くで後期旧石器時代前半(今から約30,000年前)の石器が
見つかりました。ここは「清河寺前原遺跡」といいます。埼玉県
では採取することができない黒曜石が多く見付き、原産地と
の交流がうかがえる貴重な資料だそうです。また、近くには西
大宮バイパスNo.4遺跡や大木戸遺跡があり、西区にはずっと
昔から継続して人が住んでいたことが分かります。



写真:埼玉県教育委員会提供
発掘された黒曜石(こくようせき)

西区はかつて海にも面していた。
食糧も豊かで住みやすい場所だったんだ。



滝沼川の水源と呼ばれるあたり

西区には水源がいっぱい

「水と緑と花のまち」のキャッチフレーズのとおり、川が多く
水で潤う西区。中でも滝沼川、中釘川、指扇辻川、宮前川は、全
て水源(湧き水)が西区
にあるそうです。滝沼
川の水源地の一つと
される清河寺温泉の
東側の弁天池は、現在
でも湧き水が確認で
きます。



弁天池 ※弁天池は私有地です。

豊かな自然と悠久の歴史を感じる神社仏閣

人が住めばそこに文化が生まれ、歴史が生まれます。

西区の文化の特徴は北と南である程度区別することができます。北の指扇地区は室町
時代から江戸時代にかけての神社仏閣が多く、南の植水地区は古墳時代から鎌倉時代にか
けての遺跡や神社仏閣が多く残されています。指扇の秋葉神社から清河寺に至る寺社
街道、馬宮の永田家の陣屋跡や河川敷の豊かな自然、植水の古墳群や水判土観音、内野地
区の興徳寺や鴨川緑の自然など、史跡や自然を訪ねようと思えば数えきれません。

西区には古くから人
が住み、文化を創り出
してきました。
西区は全てが素晴ら
しい散歩道になって
います。このような西
区に私は惹かれてい
ます。



永田家長屋門(土屋)



興徳寺(宮前町)



慈眼寺(水判土)

